

山形で考える 災害と防災

第三回特別公開オンラインセミナー

東日本大震災から今年で10年が経ちました。県内に目を向けると、山形県沖地震から6月で2年、豪雨による最上川氾濫の被害から7月で1年です。依然として全国各地で災害が多発している状況下で、アカデミックな観点から地震や水害を紐解くセミナーを開催します。

山形の災害や防災について考えてみませんか？

参加
無料

事前
予約

日時 2021.7.3(土) 14:00~ [終了予定 15:50]

プログラム

開会あいさつ

山形大学災害環境科学研究センター センター長 本山 功
東北地方の地震活動と山形県沖地震

講師 東北大学災害科学国際研究所 教授 遠田 晋次
山形県は海溝型地震の影響は小さいですが、直下型や日本海での地震の危険性は高い県です。これらの仕組みについて説明します。

あなたの身近にある活断層 -山形の活断層を知る-

講師 山形大学地域教育文化学部 教授 八木 浩司
身近にある山形の活断層を紹介し、地表を大きくずらす大地震が発生してきたことや、近い将来大地震が起こる可能性が高いことをお話しします。

大雨災害から身を守る

講師 山形地方気象台 次長 栗田 邦明
近年激甚化している山形県の大雨災害から自分と大切な人の命を守るために、効果的な防災気象情報の利活用についてお話しします。

洪水ハザードマップの読み方

講師 山形大学教育実践研究科 教授 村山 良之
地形を踏まえることで、ハザードマップの想定外まで読む方法を学びます。その地域の防災を考える土台となるでしょう。

質疑応答/講師によるディスカッション

主催 山形大学エクステンションサービス推進本部
協力 山形地方気象台、山形大学災害環境科学研究センター
後援 山形県、山形県防災士会

受講方法 オンライン

オンライン会議システム「Zoom」と「YouTubeLive」で配信します

※「Zoom」と「YouTubeLive」いずれかの、参加しやすい方法で受講してください。(「Zoom」の定員は450人です)
「Zoom」はパソコンやスマート端末(スマホやタブレット等)で使用できるオンライン会議システムです。使用方法などはZoomのHP等で事前にご確認ください。

対象 一般

「Zoom」や「YouTube」を視聴できるインターネット環境のある方

申込方法

申込フォーム ※必要事項をご記入の上、送信してください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/education/003>

申込受付の締切 7月1日(木)

受講申込者には、本セミナー参加に必要な情報を、前日までにメールでお伝えいたします。

申込受付とあわせて、6月24日まで災害や防災に関する講師への質問も受け付けます。事前にいただいた質問は、セミナー内で講師より回答いたしますが、取り上げられない場合もありますので、ご了承ください。

問い合わせ [エクステンションサービス推進本部]

☎ 023-628-4779 ☒ y-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

